

3年分科会 研究構想図

【これまでの研究の成果 (○) と課題 (●)】
 ○ゲスト・ティーチャーを身近な地域の人に依頼することで、より地域に親しみをもつ姿が見られた。
 ○「いかす」を設定したことで、単元を通して市民としての意識が高まった。
 ●消防単元の「いかす」が警察単元の後だったので、警察関係の意見が多くなってしまった。
 ●年表を書くなどの技能の習得に課題があった。

【3年社会科の課題 (◆) と方向性 (◇)】
 ◆地域ごとに異なる教材や人々の思いの教材化
 ◆地域社会との関りが希薄していること
 ◇地域教材の開発や関わる人の姿の教材化。
 ◇学習の見通しをもたせるための単元導入場面の工夫。
 ◇問題解決的な思考を導くための単元展開の工夫。

社会とつながり未来を創る子供の育成

～社会的事象の見方・考え方を働かせ、主体的に問いを追究する社会科学習～

目指す子供像

自分たちの暮らす地域への理解をもとに、地域社会のこれからを考えようとする子供

研究の仮説

自分たちの暮らす地域を理解すると、地域社会への誇りと愛情をもち、地域社会のこれからを考えようとする子供が育つであろう

研究の内容

主体的に追究する問いの工夫	見方・考え方を働かせる 学習活動の工夫	子供の学びを確かにする 評価の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ○自分と地域のつながりを考えられる問いの設定 ・着目して調べる視点を明確にした問いの工夫 ○疑問から問題意識を高める問いの設定 ・疑問を導く発問や地域の教材提示の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ○対話的に学習を進めるための学習活動 ・対話を通して比較・分類・関連・総合など、見方・考え方を働かせる活動の設定 ○見通しをもって主体的に学習を進める単元展開 ・単元のゴールをイメージした学習計画の工夫 ・市民の一人として自分にできることを選択・判断する場面の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ○子供の理解や思考を表出させる表現方法 ・ノートやワークシートなどの書かせ方の工夫 ○見通しと振り返りを関連させた評価 ・まとめと振り返りを分けて書ける工夫。 ・地域とのつながりを学習内容と結び付けて振り返る活動の工夫
教材開発や教材分析の視点		
<ul style="list-style-type: none"> ○子供の問題意識を高める問いの設定 ・消防単元の学習を生かした警察単元における問いの設定 ・軽重をつけた内容の取り扱い ○対話的に学習を進めるための学習活動 ・安全を守る取組を多角的に捉えるためのゲストティーチャーや施設見学などの活用 ○子供の理解や思考を表出させる表現方法 ・消防、警察の両方の小単元で「いかす」を設定し、安全単元で目指す児童の姿を具現化 		